

2014年度 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム  
「あさひかわオープンカレッジ」のご案内

共催：旭川市教育委員会

日時：2014年9月20日～11月8日（土曜日）全6回 13:00～15:00

場所：フィール旭川7階 講義室（日によって場所が変わります。裏面へ記載）

一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアムと旭川市教育委員会  
とが連携し市民のための公開講座を開催します。

（資料代として各1講座、500円いただきます）

**テーマは「もっと知りたい旭川Ⅱ  
～旭川のなりたちとこれから～」**

9月20日「歌謡曲の中の旭川」

～札幌・函館・小樽・釧路などの場合と比較して～

講師：旭川医科大学 教授 藤尾 均

9月27日「英語学者 田中菊雄の旭川」

講師：北海道教育大学 准教授 十枝内 康隆

10月4日「立体スケッチ（コンピューターによる3Dモデリング）入門」

講師：東海大学 教授 渡辺 宏二

10月18日「中核都市旭川成立の歴史背景」

講師：旭川工業高等専門学校 教授 平野 友彦

11月1日「旭川市は子どもたちにやさしいまちになれるか」

講師：旭川大学短期大学部 助教 清水 冬樹

11月8日「活力ある高齢社会を築くために」

講師：旭川大学 教授 林 芳治

お申込み・お問合せ 一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

サライトキャンパス U-プラザ TEL&FAX0166-26-0338

Mail [awbchiroba@gmail.com](mailto:awbchiroba@gmail.com)



旭川ウェルビーイング・コンソーシアムでは、市民のみなさんの身体的・精神的・社会的な健康の達成と、元気な地域の形成に貢献できるよう様々な活動を行っております。本講座も生涯教育のひとつとして、単なる知的興味の満足や伝達に終わるのではなく、ともに地域の課題を考え、地域づくりに取組む契機となることを目指しております、お気軽に参加ください。（興味のある講座だけでも受講できます）

定員：各講座30名 募集開始日：8月20日（水）10時より  
（道民カレッジ連携講座：各1単位）

講義概要：

9/20 「歌謡曲の中の旭川」 (シニア大学教室)

世に「御当地ソング」と呼ばれる歌謡曲は数多い。旭川を舞台とするものも存在し藤圭子・細川たかし・美川憲一・ロスプリモス・中坪健・横内じゅんなどの歌手が歌っている。しかし、その数は少なく、しかも札幌・函館・小樽・釧路などの場合とは違って全国的に知られた大ヒット曲はない。なぜだろうか。多角的に考えてみたい。

9/27 「英語学者 田中菊雄の旭川」 (会議室1)

田中菊雄は旭川の高等小学校を卒業後、国鉄の列車給仕を勤めながらほぼ独学で英語を学び、山形大学教授、神奈川大学教授を歴任した人物である。彼の足跡をたどりながら今日につながる教育的課題について考えてみたい。

10/4 「立体スケッチ(コンピューターによる3Dモデリング)入門」 (会議室1)

話題の3Dプリンターも10万円を切る価格のものも発売され身近なものになりつつあります。3Dプリンターで3Dモデルを製作するにはモデルデータが必要です。無償配布されているコンピューターアプリ「SketchUP」を使った3Dモデルデータの作成入門です。

参加要件

ノートPCを持参できる方(無線LANを受信できるPC)

マウス操作を基本としますのでマウスを持参できる方

募集人数：20名(先着)聴講のみも可

\* SketchUPをダウンロードし、インストール作業を行っていただきます。

10/18 「中核都市旭川成立の歴史背景」 (会議室1)

旭川市は北海道の内陸にありながら、札幌に次ぐ道内第2の人口を抱え、道北の中核市として位置づけられている。なぜ、こうした発展が可能であったのか、その要因を主に、歴史風土の側面から考える。

11/1 「旭川市は子どもたちにやさしいまちになれるか」 (会議室1)

私的領域として考えられる子どもの育ちや子育てについて、地域の主体的な支援が必要な背景を国際的な動向を踏まえた上で、旭川市の子ども子育て家庭の現状と課題を整理し、こどもにやさしいまちの展望をする。

11/8 「活力ある高齢社会を築くために」 (会議室1)

超少子化社会における私たち地域住民の課題とは、何か一緒に考えていきたい。

2035年旭川市の人口推計値68,474人の減少。これから私たち一人一人に何を投げかけているのでしょうか。